

奈良公園 巨樹・巨木めぐり観察会

日時 : 2022年(令和4年)9月16日(金) 晴れ

集合時間・場所 : 9:50 集合 近鉄奈良駅 行基像付近

参加者 : 18名 (欠席5名) 実習生2名 合計20名

行程 : 近鉄奈良駅前 ⇒ 10:30 春日大社・若宮神社 観察 ⇒
12:20 飛火野 昼食 ⇒ 13:20 飛火野 春日大社参道
観察 ⇒ 14:40 近鉄奈良駅

作成者 : 大東齡子



スギの巨木の前で記念写真

近鉄奈良駅前からバスで春日大社本殿バス停へ 担当挨拶、実習生2名を迎える



316 ナギ 幹周3.3m 樹高13m

315 ケヤキ 4.9m 16m

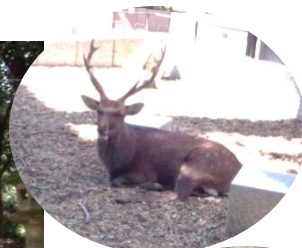


ケヤキ
樹高 一六、〇m
幹周 四、八六m
幹上二七m
幹周は四、八六mだが、根元はそれよりもはるかに太く、四方に根を張る姿には驚かされる貫楯がたよう。幹の内部は空洞になっており、太い幹の上部は失われて、ずんぐりとした印象の老木である。奈良公園内にケヤキの大木は多いが、このケヤキが最も大きい。

春日大社



二の鳥居から春日大社本殿へ



大鹿
小鹿



砂ずりの藤

砂ずりの藤
北の柳が建世の跡にすまると長いところからこの名がある。樹齢八百二十年といわれ、鎌倉時代後期(一二三〇)に植かれた経巻物(藤)が現存(記)にもここにフジがあったことが記されている。春日大社では神紋にもフジの紋様を用い、奈良県以北境内のフジは大明にされている。

春日大社

313 **カゴノキ** 2.1m 15m



カゴノキの根 →



イチイガシの板根↓ 312 **イチイガシ** 5.0m 24m



スギの幹とナギの幹に触って違いは？ 平岡さんによる **ナギ** のインプリ ナギの葉脈は？



310 **スギ** 幹周6.5m 樹高17m

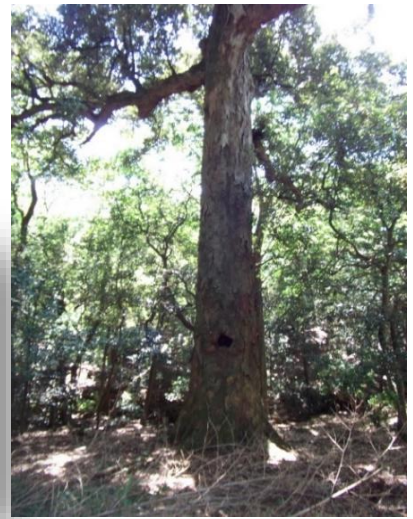
4.5人で幹を抱える





←318 **イチイガシ** 317→
幹周4.9m樹高24m 5m 29m

市指定文化財
春日大社境内の
イチイガシ巨樹群
春日大社が創祀された八世紀頃には、御蓋山の麓から飛火野にかけてイチイガシを優占種とする照葉樹林がひろがっていたと考えられている。
現在、春日大社境内にはそれを物語るように幹周3mを越えるイチイガシの巨樹が多く生育しており、学術的にも環境保全の上からも重要な存在である。
春日大社



春日大社境内のイチイガシの巨樹群、参道を歩いて飛火野へ



320 **クスノキ** 4.8m 26m 明治41年陸軍大演習の後、明治天皇ご臨席を記念して3本のクスノキが植樹される

イラクサに注意！
すごい棘がある →



飛火野の木陰で昼食
実習生とサポーターの
宮澤さん、福嶋さん





321 クスノキ

7.3m 24m
主幹の焼損が著しいが残った表皮で育っている



根元の穴をくぐりました！



飛火野の風景

足元には→
ウマスギゴケ



川口Yさんによる **ヒイラギ** のインプリ 幼木の頃は鹿に葉っぱを食べられないようにトゲ



一つの枝にトゲのある葉と丸い葉↓





ムクロジ
樹高 一五、五m
幹周 四、五八m
日本では中部以西の山野に自生し、春日山にも多く生えている。葉裏には白い毛が生え、果實には大食の甲虫が食われるため、かつて石槌としても利用されていた。種子は正月の御餅などの球や数珠に使われた。
春日大社



近鉄奈良駅前で終わりの挨拶
実習生2人、お疲れ様でした
担当の益尾さん、平岡さん



↑

303 ムクロジ 4.6m 16m

幹の中心から竹が伸びる

ムクノキ 6.5m →

板根、断層上にある

奈良公園の巨樹 3.春日大社周辺

〔春日大社周辺コースの案内〕
広大な奈良公園の平坦部に点在する寺社を巡りながら散策するコースです。
表参道の一の鳥居からスタートします。
博物館→洗手ヶ原→浮現堂→ささやきの小塚→金龍神社→若宮神社→春日大社→鹿苑→飛火野と一周します。

